

杜の伝言板

ゆるる



特集

● 高校生が地域社会の担い手に
—NPOで高校生の夏ボラ体験2014—

● 誰かが誰かの役に立つ
NPO法人まぎばフリースクール

復興への道地域の目 石巻編

高台にある穏やかな放課後時間 放課後こどもクラブBremen

コラム

私たちには伝える役割がある 被災地に限らず地域の市民力が社会を変える!
月刊杜の伝言板ゆるる編集長 大久保 朝江

みやぎNPOプラザからのお知らせ

はじめよう市民活動!〜「NPO夜学」第二章いよいよ開幕〜

● 今月の助成金情報

● information



特集

高校生が地域社会の担い手に — NPOで高校生の夏ボラ体験2014 —

少子高齢化が進む日本。NPOの世界でも、次代の若き担い手の不在を嘆く声は多くあります。

将来NPOに参加し、地域の課題解決に関わる人材を増やすため、まだ社会に出ていない高校生のうちからNPOや市民活動について知ってもらおうと二〇〇三年から杜の伝言板ゆるるが実施しているのが、「NPOで高校生の夏ボラ体験プログラム」です。

今年度もいよいよ高校生たちのボランティア体験が始まりました！

●事前学習会を開催する意義とは●

七月十九日から二十一日にかけての三日間、高校生がボランティアを行う前の集合研修「事前学習会」が県内四会場で開催され、合わせて三十三NPOと一二四名の高校生が集いました。

学習会の内容は、NPOについて、ボランティアについての講義、協賛企業河北新報社教育プロジェクト事務局からの「新聞の読み方」「文章の書き方」講義、受け入れNPOの団体紹介および団体と高校生の顔合わせ。

この事前学習会は毎年、夏ボラ体験を実施するにあたって開催しています。そして、重要なこととして、事前学習会に参加できない高校生は、残念ながら夏ボラ体験にも参加

することを認めていません。なぜ高校生に事前学習会の参加を必須としているのでしょうか。

夏ボラ体験は、高校生にボランティアをしてもらうことだけを目的とはしていません。その趣旨は、ボランティアを通じて、自分たちの地域にある社会課題を認識してもらうこと、その課題解決に取り組んでいけるNPOを知ってもらうこと、そしてゆくゆくは将来、地域の担い手となってもらうことにあります。事前学習会は団体と高校生の顔合わせの場であるとともに、その趣旨を高校生に理解してもらうための場でもあります。

だから高校生には必ず事前学習会に出席してもらうことにしています。

●スケジュール調整とマッチング●

夏ボラ体験では、毎年六月〜七月にかけて、県内の全ての高等学校へ募集をかけます。ただし、募集をかける前に決めておくべきことがあります。受け入れNPOでのボランティア活動内容とスケジュールです。

先に述べた夏ボラの趣旨は当然、受け入れるNPOにも共有してもらう必要があります。もし受け入れNPOが高校生のボランティアをただの労力と考えている場合は、再度趣

誰かが誰かの役に立つ

●NPO法人まきばフリースクール

日本では一九九〇年代ごろから自宅に閉じこもり、社会との関係を持たない人びと―引きこもりが急増し、社会問題化してきました。

栗原市高清水の豊かな自然環境に囲まれたある牧場では、引きこもりを筆頭に、一般的な社会に対して生きづらさを抱える人びとが共同生活を営んでいます。

今回は十五年にわたってその牧場を運営し、NPO法人まきばフリースクールとNPO法人KHJ宮城県「タオ」(以下、タオ)両団体の理事長として、引きこもりや不登校状態の人びとへ多角的な支援を行っている武田和浩さんに、これまでどのような当事者たちと向き合ってきたか、話を聞きました。

●●●● ●●●●

恩師から受けた経験を社会に還元

武田さんが引きこもり、不登校支援を始めたきっかけは今から三十年以上前にさかのぼります。その当時、十八歳の若者だった武田さんは人生

で初めての大きな挫折を体験しました。「その時、一人の牧師さんと出会った。人生に絶望していた僕に、その牧師さんはとても親身に関わってくれた。自信喪失していた私のために、大きな犠牲をいとわず、本気で必死に真心こめて、寄り添い続けてくれた。それがきっかけで僕の生き方は変わったんです」。

以降、武田さんはこの牧師さんから受けた恩を、世の中へ還元していくと決めました。武田さんと同じように、生きづらい思いを抱える若者と牧場で寝食をともにしながら向き合っていく、武田さんがそのとき

描いた構想でした。

ただ、その思いが「まきばフリースクール」として実現するまでには、牧場経営を学ぶために畜産会社へ就職したり、神学校へ通い牧師となったり、と紆余曲折がありました。

ようやく現在の栗原市高清水で「まきばフリースクール」を設立できたのは一九九九年のことです。

●●●● ●●●●

「受容」と「共感」

武田さんはまきばフリースクールを始めるにあたって、引きこもりや不登校だけでなく、とにかく社会に居場所がない人びとを誰でも受け入れることにしました。「誰でも」を受け入れるという判断をするには、重い責任と覚悟が必要でしたが、武田さんはある確信を持っていました。「受容」と「共感」を提供すれば、受け入れた人を必ず笑顔にできるという確信です。

まきばフリースクールに集まる人びとは、居場所を失う過程で何らかの心の傷や挫折経験を抱えており、

そのために自分に自信を持つことができません。そこでかつて武田さん自身が救われたように、『今の自分』を受け入れてもらい、自身の境遇を共有してもらおうことを求めているのです。

●●●● ●●●●

再チャレンジできるように

現在、まきばフリースクールではフリースクール事業を基幹としながら、さまざまな事業を展開しています。

一つ一つ挙げていくと、就労支援事業「まきばワークス」、武田さん夫婦を里親とする「ファミリーホーム愛子園」、十五歳から二十歳の少年、青年を受け入れ社会的自立を助ける「自立援助ホーム峠のまきば」、刑務所から出所した人びとの再犯防止を目的として、出所後の一時的な居場所を提供する「自立準備ホーム」があります。また、別法人有限会社まきばサービスでは高齢者デイサービス「アイサービスまきば」も運営しています。

まきばフリースクールを運営していくにあたって大切なのが先に述べた「受容」と「共感」なのですが、それらだけでは利用者が再び社会へ出て行こうとするチャレンジは生み出せません。「受容」「共感」をしてもらえない環境は、利用者にとって居心地がよいがために、今度は依存状態を作



▶まきばフリースクールの武田理事長

◀ 牧場敷地内の畑で大根を収穫する利用者たち



り出してしまっからです。

そこでまきばフリースクールでは、利用者へ居場所を提供するとともに、彼らと共同作業をする機会を作っています。「共同作業ってというのは、なるべく『より大変な立場にいる人』に対して何かを『与える』ことがいい」と武田さん。

まきばフリースクールで行っているそれぞれの事業は、この共同作業をする機会として始まったものです。

●●● 人と人の化学反応 ●●●

この共同作業によって人びとはある種の『化学反応』を起こします。ここではある男性を紹介します。

彼はまきばフリースクールに来たとき、三十五歳。それまで十年間引きこもり生活を続けてきており、社

会生活を送るだけの覇気はありませぬ。そんな彼に課せられた役割は、とても簡単なことでした。それは、デイサービスまきばを利用してある認知症のおばあちゃんと一緒に昼食を食べること。

おばあちゃんと食卓をともにして数日。ある日、おばあちゃんは食卓を叩き、彼へこう言い放ちました。「若いのに何をやっているの、しっかりしなさい」。

おばあちゃんもともと地域でも評判の世話好きでした。しかし、老後を迎え、夫にも先立たれたことで、世話を焼く相手がなくなってしまう、痴呆が始まりました。そこに現れた引きこもりの男性は恰好の世話焼き相手でした。それからというもの、その男性を何とかすることがおばあちゃんにとっての生きがいとなり、痴呆の症状も軽くなっていきました。

男性はその後、アルコール依存症の年下の男性に触発され、なりゆきから生活保護申請を出すことになりました。そして結局、現在では生活保護を受けながら仙台市内で自立した生活を送っています。

●●● 誰かが誰かの役に立つ ●●●

現在まきばフリースクールにはスタッフが三十五名いますが、その八割が当事者。行くあても生きる希望

も失っていた人びとがまきばフリースクールの中で過ごすことで、立ち直り、そして再び社会に戻ることができています。二〇一三年度には九人の利用者が学校復帰や就労などの理由でまきばフリースクールを卒業しており、社会復帰の場は必ずしもまきばフリースクール内だけに限りません。

「人は人によって傷つくが、人によって癒される」とは武田さんの言葉。まず、どんな人でも受け入れてくれる居場所まきばフリースクールがあり、そこには利用者を社会復帰に向かわせる多種多様な事業があります。まきばフリースクールへ来た時点では社会の中で一人立ちできなかった人びとは、まきばフリースクールの環境のなかで、自らと同じように何らかの理由で上手く社会と付き合えない人と出会います。多種多様な事業を媒介することで人と人は『化学反応』を起こし、生きる気力



▶ 牧場にいる羊

や自立心などが利用者の中に生まれていきます。

まきばフリースクールのこのような環境では、無駄な人は一人もいません。そこにいる人は誰でも誰かの役に立ち得るからです。

●●● 理念の引き継ぎが課題 ●●●

武田さんは二〇一〇年から、それまで一支援者として関わってきたタオの代表も兼ねることになりました。タオは引きこもりや不登校の子を抱えた親の会です。

また、今年九月には新たに就労継続支援B型の事業所の開設が予定されており、まきばフリースクールの規模はさらに拡大します。

ただし、これまでまきばフリースクールを維持、拡大してこられたのは、理事長武田さんの強い思いがあったからこそ。受け入れた若者を救うために、言葉通り命を張ったこともありました。

はたして自身がなくなってもまきばフリースクールは続いていけるのか。それが今後の課題と武田さんは考えています。

NPO法人まきばフリースクール

〒987-2183 栗原市高清水袖山62-18

●TEL : 0228-25-4481

高台にある 穏やかな

放課後時間

●放課後子どもクラブBremen

レポーター紹介



NPO法人いしのまきNPOセンター
武山 加奈さん

いしのまきNPOセンターのスタッフをしています。武山加奈と申します。中間支援団体として、石巻市NPO支援オフィス（ポータルサイト）の運営をしています。

石巻市日和山の中腹、石巻湾を見渡せる高台に子どもたちの居場所があります。その名も「放課後子どもクラブBremen」（以下、ブレメン）。震災の影響から落ち着いて遊んだり勉強したりできる居場所がなくなっただ子どもたちへ、充実した勉強と遊びの時間を過ごしてほしいと小学校教師だった寶鈴子さんが立ち上げました。

子どもたちに家庭的な環境を

三十四年間の小学校教師生活を終えようとしていた二〇一一年三月に震災が起こりました。寶さんは当時勤めていた石巻市立稲井小学校で炊き出しなどをし、退職後も教育事務所からの要請で、カウンセラーなどとともに、子どもたちや保護者の心のケアを二〇一二年三月まで続けました。

そして四月からは仮設住宅の集会所で、県外から来た多くのボランティアさんと一緒に、放課後の子どもたちのストレスケア活動を手伝う

ことになりました。

活動を通して寶さんには気になることが増えてきました。それは子どもたちの落ち着きのなさでした。また、多くのボランティアが短期間で入れ替わってしまうことも、子どもたちにとってはプラスではないと感じられました。

長年教師だった経験を生かしつつ「子どもたちを家庭的で落ち着いた



▶ボランティアの先生と一緒にパンケーキパーティー

環境で過ごさせたい」とブレメンを立ち上げたのは二〇一二年五月のことでした。

その拠点は日和が丘の高台にある寶さんの自宅。一緒に活動するメンバーはボランティア中心で、高校の数学の先生やA・L・Tの外国人の先生、その他、活動に賛同する人たちが協力しています。主な活動は放課後の小学生に勉強と遊びのための時間を作ってあげること。現在は七名の子もたちに先生四名がつき、丁寧に勉強を教えています。遊びの間も充実させ、庭や公園で一緒に遊びます。

ブレメンは会員制で、入会費一万円、会費は利用頻度に応じて一か月五〇〇〇円から。また、ブレメンは学校外教育の支援団体である公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンの協力会員であるため、専用クーポンがあれば、ブレメンの利用料金が無料になります。クーポンの利用は、被災した子どもたちを対象としています。

子どもも大人も、みんな一緒に

団体名「ブレメン」は、童話「ブレメンの音楽隊」から取りました。同じような境遇の動物たちが協力し合い、幸せに暮らすという物語に、震災後の人々の状況が繋がるような気がしたそうです。落ち着いた場所で、信頼できる仲間たちと一緒に、未来を担う子どもたちの成長を見守りたい。そんな寶さんの思いも込められています。

放課後子どもクラブBremen

- 〒986-0833 石巻市日和が丘4-1-17
- TEL : 0225-98-3095
- FAX : 0225-93-5561
- E-mail : suzuko@takara.name
- URL : <http://bremen.vpweb.jp/>

私たちには伝える役割がある 被災地に限らず地域の

市民力が社会を変える！



月刊社の伝言板ゆるる編集長

大久保 朝江

あの東日本大震災から三年五月が過ぎようとしています。地震があった日、遠く札幌にいた私は、飛行機、夜行バスを乗り継いで十四日夕に仙台に帰りました。既に県内の被災地には海外で活動しているNGOが入り、広い地域で救援活動が始まっていました。メディアから流れるNGOの活動は頼もしく、感謝の念を持ちました。

五日目にゆるるが運営しているみやぎNPOプラザを再開したものの、ゆるるとしては「私たちは今何ができるのだろう、何かしなければ」と、焦りにも似た感じを持ち、理事会で協議しました。その結果、まずはゆるるのミッションである宮城のNPOの支援をするという、後方支援に徹することにしました。その後、県内のNPOの安否確認と共に活動の現状を把握することに奔走し、規模は小さいながら日頃の活動現場で支援活動していることを確認しました。

のことを真剣に考えている姿を見るにつけ、なかなかマスメディアには登場してこない地元NPOのことが気になりました。先々「あの緊急時、地元のNPOは何していた！」と言われぬように、可能な限り地域に寄り添った活動をしている彼らの活動を誰かが伝えなければならぬ。それはゆるるの役割ではないか！と気づいたのでした。

さっそく発行が危ぶまれていた月刊ゆるるの四月号を遅れても発行することを決断。以降、二〇一一年度は震災以前から活動しているNPOの被災地支援活動を、二〇一二年度は、地元の人々で立ち上げたNPOの復興支援活動を、そして二〇一三年度は、被災地で継続的に寄り添った活動をしている地元主体のNPOを中心に特集「復興への道」として掲載してきました。

三年が過ぎた今年の三月、ゆるるは、被災地の支援活動、とりわけ情報発信を熱心に行っているNPOに呼び掛け、被災地の情報共有を図り、誌面に生かそうと編集会議を開催し

ました。これからの復興を支援する情報発信をどうしていくか、いろいろアドバイスを執筆の協力も得ながら毎月の編集会議にご協力いただきました。

しかし、それぞれのNPOは情報が本来の目的ではないため、かわり方にも限界が生じ、ゆるるとしても編集方針の見直しが必要となりました。

今年の一月号で二〇〇号を記録した月刊ゆるる。緊急の事務局編集会



▶県内の他NPOとともに石巻で編集会議

議は、情報誌の発行について「そもそも」論から確認することに。創刊のいきさつを知っているものは編集長である大久保のみです。

振り返れば、創刊の一九九七年ころは、まだマスメディアに市民活動団体の記事が掲載されることは稀で、市民を巻き込もうにもなかなか伝わらない状況でした。そこでボランティア活動や市民活動団体の活動紹介をすることで、一人でも多くの市民が活動に参加したり、応援するきっかけとしてほしいと、自主財源で情報誌を発行したのでした。

市民活動とは、市民が地域の社会的問題に自主的に取り組むという、市民主体の活動です。この地域の問題を他人事とせず、市や町の地域を超えて取り組む活動こそ、確かに地域を変えてきました。

多くの地域はこれから高齢化がますます進み、個人での対応には限界が間もなく見えてきます。だからこそ、気づいた人が他人事とせず、自ら地域の課題に取り組む市民の活動が期待されます。まさにこの取り組みが「市民力」なのです。

改めて、このことに気付いてほしい！と、月刊ゆるるは情報発信を続けることの意義を再確認し、八月号から徐々に誌面改革を始めることにしました。皆様からの声を拾いながら「市民力」を広めることに貢献していきます！

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

NPO夜学ってなに？

NPO夜学（以下、「夜学」）はNPO・市民活動について学び、実際に市民活動に関わっていく人材の育成、ならびに既存のNPOに自分のスキルを提供できる人材の育成を目的に、昨年度より開催しています。

対象は市民活動に興味のある二十代から四十代の社会人や学生。五回のテーマに分けて開催し、のべ八十三名が参加しました。夜学は働きながらでも、市民活動に関わるきっかけが作れるように、夜間に開催しています。

「社会貢献したい」という想いはあるが、なかなか一歩を踏み出すことができない…。そんな想いをもつ人が広く参加できるように、今年度は年齢制限を設けていません。また、プログラムを一部リニューアルし、全六回のテーマで開催します。

（※都合により、テーマは変更になる場合もあります。）

イチオシ！ 夜学月別オリジナルメニュー

◆八月『NPOとボランティア』

「NPOってなに?」「NPOとボランティアの関係は?」など、NPOについての基礎を学びます。

◆九月『NPOを立ち上げる』

実際にNPO法人を立ち上げたゲストからNPOの活動や団体を立ち上げた経緯について聞きます。

◆十一月『働きながらNPO』

「NPO」と「仕事」を両立する秘訣

をゲストから聞きます。

◆十二月『NPOを仕事にする』

「雇用」の場として、「仕事」として、NPOで働くことにフォーカスします。

◆一月『一緒に活動する仲間を見つける』

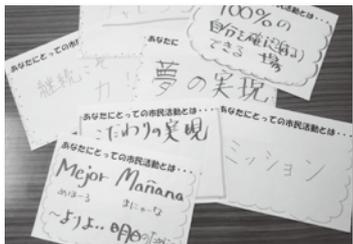
NPOを継続して運営していくうえで「思い」「ミッション」と「責任」を共有できる仲間を見つけることが重要です。活動するうえで「仲間づくりの秘訣」を探ります。

◆『NPOと出会う！N活!』

多様な分野で活動しているNPOのリーダーを数名ゲストに迎え、ワークショップを行います。多くの団体と接し、実際に市民活動を始めるきっかけをつくりまします。

夜学はワークショップを取り入れた参加型のプログラムになっています。毎回実際に第一線で活躍しているNPOのリーダーをゲストに迎え、テーマに沿って話をしてもらいます。その後、参加者全員でグループごとに分かれ、「市民活動」を通じて、生き方、ライフワークについてそれぞれの想いを語り合い、共有します。コーヒーやお茶を飲みながらのアツ

がらのアツ



▶毎回恒例！ゲストに聞く「私にとって市民活動とは…」

▶夜学ワークショップの様子。活発な意見交換がされ、会場は熱気に包まれます



トホームなスタイルも夜学の特徴です。誰でも気軽に参加しやすい雰囲気作りを心がけています。

参加者からは「夜学を通して市民活動が身近なものに感じられました」「年齢や性別、職業を越えて様々な価値観と熱意に触れることができ、貴重な場となりました」という声がありました。また、「ボランティアとして先日、福祉施設にいらしてきました」など、実際に活動する一歩を踏み出した参加者もいます。

ともに学び考え、 新たな一歩を踏み出す

市民活動に関わることは決して特別なことではありません。自分のペースで、自分に合った市民活動と一緒に探してみませんか？ いよいよ八月より平成二十六年度NPO夜学が開校します。皆様の参加をお待ちしています。

プラザのNPO相談

お申込みはコチラから

法人設立・運営相談

毎週水曜 13:00~17:00

会計・税務相談

8/28(木)、9/26(金) 13:00~17:00

融資なんでも相談

8/21(木) 13:00~17:00

法律相談

9/4(木) 13:00~17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者・特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

イオン環境財団 第24回環境活動助成

- 助成対象：「生物多様性の保全と持続可能な利用のために」を基本テーマに、以下の活動分野の活動を開発途上国および日本国内で行い、かつフィールドワークを伴う事業
活動分野：A.植樹、B.森林整備、C.砂漠化防止、D.里地、里山、里海の保全、E.湖沼・河川浄化、F.野生生物の保護、G.絶滅危惧生物の保護
- 対象団体：窓口担当者が日本に在住しており、団体名義の「ゆうちょ銀行」口座を有し、下記に該当しない団体
 - ①他への助成事業を実施している団体
 - ②国からの補助金が5割以上の団体
 - ③株式会社等の営利団体
- 助成金額：総額1億円
- 助成期間：2015年4月1日～2016年3月31日
- 募集締切：8月20日(水) 関係資料必着
- 申請方法：財団ホームページにて申請必要事項を日本語で登録し、その他指定の必要書類を下記連絡先まで郵送
- 連絡先：公益財団法人イオン環境財団(担当：樋口、西條)
〒261-8515 千葉市美浜区中瀬1-5-1
TEL：043-212-6022
URL：<http://www.aeon.info/ef/>

平成26年度 第12回MPDリーム助成 (東日本応援特別枠)

- 助成対象：東日本大震災からの復興に向けて、活動している岩手・福島・宮城の3県内のボランティアグループが行う、以下の活動
学習会・研究会の開催、調査・研究の実施、福祉教育・ボランティア啓発の実施、ボランティアグループによる先駆的・モデル的活動、器具機材の購入、その他
- 対象団体：東日本大震災からの復興に向けて、活動している岩手・福島・宮城の3県内のボランティアグループ
※総収入額に対する国、地方公共団体等の助成の割合が50%以上、または、総支出に対する人件費の割合が50%以上のグループは対象外
- 助成金額：1グループ20万円以内(5グループ)
- 助成期間：2015年1月1日から2015年8月31日までに実施(終了)する事業
- 募集締切：8月20日(水) 必着
- 連絡先：三重県遊技業協同組合事務局
〒514-0006 津市広明町328 株式会社津ビル内
URL：<http://www.sanyukyo.jp>

第18次 ジャパン・プラットフォーム 「共に生きる」ファンド

- 助成対象：
 - ・東日本大震災の被災地・者に対する緊急から復興までの支援活動全般
 - ・全国にある被災者の避難先における活動
- 対象団体：応募時点で所定の要件を満たす非営利法人
※法人格のない任意の団体等は含みません
※地元の非営利組織が支援活動を行うことを優先的にサポートします

- 助成金額：1事業あたり100万円～1,000万円
※前年度の支出実績等により金額が異なります
- 対象期間：「共に生きる」ファンドの助成を受けたことがない場合、最長3か月まで
初回のJPF助成事業が問題なく実施されたことが確認された場合は、次回申請事業からは最長1年間まで可能
- 募集期間：8月19日(火)～8月26日(火)
- 応募先：proposal@japanplatform.org
- 連絡先：NPO法人ジャパン・プラットフォーム
事務局事業部(震災担当)
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-6-5
麹町GN安田ビル4階
FAX：03-6261-4753
URL：<http://tohoku.japanplatform.org/tomonikiiru/apply.html>

第6回夢屋基金

- 助成対象：活力あふれ豊かな未来のため、国内外において実施される子どもの健全育成、医療保健、国際交流・親善の分野に該当する公益活動を支援し公益の増進に寄与することを目的とし、以下の要件を満たすもの
 - ・上記の目的を達成しようとする法人格を有する団体が行う事業
 - ・法人格取得後1年以上の活動実績を有する団体が行う事業
 - ・他の助成金や補助金を得ていない事業
 - ・営利を目的としない事業
- 助成期間：2014年11月以降～2015年10月までに実施する事業
- 助成金額：1件あたり上限は原則50万円以内(総額500万円程度)
- 募集締切：9月10日(水) 消印有効
- 連絡先：公益財団法人公益推進協会 夢屋基金事務担当
〒105-0004 東京都港区新橋6-7-9
新橋アイランドビル2階
TEL：03-5425-4201 FAX：03-5405-1814
E-mail：info@kosuikyo.com

平成26年度(第21回) ボランティア活動助成

- 対象団体：特に在宅老人、障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動を目的とした団体・グループ
学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します
※社会福祉協議会若しくは共同募金会の推薦が必要です
- 助成金額：1団体あたり上限30万円(総額3,500万円(上限 3,800万円))
- 助成期間：2015年1月1日～12月31日に行われる活動
- 募集締切：9月15日(月) 消印有効
- 連絡先：公益財団法人大和証券福祉財団
〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-1
大和八重洲ビル
TEL：03-5555-4640 FAX：03-5202-2014

のながれなど様々な“ながれ”を紹介。そこに潜む科学を解き明かします。

- 日時：【第1回】8月29日、【第2回】9月5日、【第3回】9月12日、【第4回】9月19日、【第5回】9月26日
各日金曜日 18:00~20:00
- 場所：東北大学片平キャンパス 流体科学研究所
2号館5階大講義室
- 内容：【第1回】「血液のながれ」
【第2回】「炎のながれ」
【第3回】「プラズマのながれ」
【第4回】「原子・分子のながれ」
【第5回】「地下のながれ」
- 定員：18歳以上の県民 50人
- 申込方法：下記連絡先にはがき、FAX、E-mailで申込み。
申込み時、住所、氏名(フリガナ)、性別、年齢、職業、連絡先をお知らせ下さい。
- 申込締切：8月22日(金)
- 主催：宮城県教育委員会
- 運営：NPO法人みやぎ生涯学習指導・支援センター
- 連絡先：東北大学流体科学研究所 総務係
〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1
TEL：022-217-5303 FAX：022-217-5311
E-mail：shomu@ifs.tohoku.ac.jp
URL：http://www.ifs.tohoku.ac.jp/jpn/index.html

8/30 Kindle (キンドル) ダイレクトパブリッシングで個人出版社を作ろう!

「Kindleダイレクトパブリッシング (KDP)」で本を出版するのは難しくありません。KDPで本を出版するには、サポートされているファイル形式で本の中身(コンテンツ)を作成して、電子書籍に必要な情報をつけ加えてアップロードするだけです。とはいえ、初めての時は分からないことも…メディアデザインの電子出版入門講座は、これから個人で電子書籍にチャレンジする皆様をサポートする講座です。

- 日時：8月30日(土) 13:30~16:30
- 場所：せんだいメディアテーク 7階会議室b
- 講師：伊藤利光氏(メディアクリエイター)
- 定員：15名(事前申込み受付順)
- 参加費：1,000円(当日会場にてお支払いください)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。
URLリンク先の専用フォームからも申込みできます。
- 主催：一般社団法人メディアデザイン
- 連絡先：〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11
朝日プラザ北一番丁1階

TEL：090-3049-0613
FAX：022-224-5308
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/article-4310/

9/4 MELON 4Rクッキング体験講座 おいしく食べよう!緑のカーテン エコな夏やさい料理教室

夏の省エネに効果がある緑のカーテン。ゴーヤやキュウリ、ツルムラサキなどいろんな食べられる植物で作れます。でも、いざたくさんできると食べきるのが大変…。そんな緑のカーテンの作物をたっぷり使って、おいしい夏野菜料理をエコに作ってみませんか?

- 日時：9月4日(木) 10:10~14:00
- 場所：エル・パーク仙台 調理実習室
(青葉区一番町4-11-1
141ビル仙台三越定禅寺通り館5階)
- 内容：■メニュー■
★ゴーヤの肉詰め
(なんちゃってデミグラスソースがけ?)
★米ナスの簡単ピザ
★つるむらさきのさっぱり和え
★ゴーヤのワタのみそ汁
★香りみょうがごはん
★夏味スムージー☆
※卵、豚肉、乳製品を使います。アレルギーへの対応は自己管理でお願いいたします
- 対象：大人または5歳以上の子ども
- 定員：25名(お申込み先着順)
- 参加費：大人700円 小学生以下400円
※小学生以下のお子様は保護者と一緒にご参加ください
- 持ち物：エプロン三角巾、手ふき用タオル、筆記用具、あれば自宅で育てたゴーヤやキュウリなど
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・メールで①氏名②ふりがな③性別④生年月日⑤電話⑥住所を連絡
- 申込締切：9月1日(月)必着
- 主催：公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
- 連絡先：(担当・広重)
〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台5階
TEL：022-276-5118 FAX：022-219-5713
※当日連絡先：090-1377-8867
E-mail：melon@miyagi.jp.npo.org
URL：http://www.melon.or.jp/melon/event.html

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-5-12
一番町中央ビル8F
TEL : 022-266-5650
E-mail : office@sendai-senior.org
URL : http://sendaicpc.cocolog-nifty.com/blog/

もお申込みできます

●主 催 : 仙台市、公益財団法人せんだい男女共同参画財団
●連 絡 先 : 仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク
仙台 管理事業課
TEL : 022-268-8300 FAX : 022-268-8304
URL : http://www.sendai-l.jp

8/26 加藤哲夫氏メモリアルプロジェクト 中間報告会・加藤哲夫氏メモリアルDAY

せんだい・みやぎNPOセンターの創設者である加藤哲夫氏のメモリアル事業のプロジェクト、「K-project」。今回は、第1部に基調講演、第2部に対談ダイアログ&交流会の2部構成でお送りいたします。

- 日 時 : 8月26日(火) 【第1部】10:00~12:00
【第2部】18:00~20:30
- 場 所 : 仙台市市民活動サポートセンター
【第1部】セミナーホール
【第2部】市民活動シアター
- 内 容 : 【第1部】基調講演「NPOのことをあらためて学び、組織のことを考える2時間」
早瀬昇氏(認定NPO法人日本NPOセンター代表理事)
【第2部】対談ダイアログ&交流会「ソーシャルな働き方や、プロジェクトの作り方について語り合う」
ゲスト : 加藤哲平氏(みちみち種や)、ほか
- 参加費 : 【第1部】無料 【第2部】1000円(軽食代)
- 申込方法 : 下記連絡先に問合せ。
- 主 催 : NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- 連絡先 : (担当:佐々木)
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27
岡元ビル7階
TEL : 022-264-1281 FAX : 022-264-1209
URL : http://blog.canpan.info/minmin-kpro/

8/27 夏の男子会 ~僕らの育休があたりまえになったら~

「実は子どもができたんです」(男性部下)
「おめでとう! で、育休はいつから?」(上司)
こんな会話があたりまえになったら。プレパパ、かけ出しパパ同士で、育休の「ほんとのところ」を語り合おう。

- 日 時 : 8月27日(水) 19:00~21:00
- 場 所 : エルパーク仙台 スタジオホール
(仙台三越定禅寺通り館6F)
- 内 容 : ◆語り合い&交流
それぞれの経験や思いをワールドカフェ方式で語り合います
【話題提供者】加茂光孝氏(親子向けパフォーマンスグループ「そらとぶクレヨン」代表)
村松稔氏(お父さん委員会幼児部)
- 対 象 : 40代までの男性で、育休を取ったことがある方、育児のために有休や時短を使ったことがある方、これから育休等を取りたいと思っている方
- 定 員 : 20名程度
- 参加費 : 2,000円(飲み物&軽食付)
- 託 児 : 6か月以上小学1年生まで
・利用料子ども1人300円
・障がいのあるお子さんや上のお子さんについても相談可
・託児申込締切: 8月19日(火)
- 申込方法 : 下記連絡先までTEL、またはホームページから

8/27 NPO夜学~もうひとつの生き方と出会う~ 第1回「NPOとボランティア」

「NPOってなに?」「NPOとボランティアってどうちがうの?」などなど、NPO・市民活動について基本的なことを学びます。自分に出来る『市民活動』を探しましょう!

- 日 時 : 8月27日(水) 19:00~21:00
- 場 所 : みやぎNPOプラザ
- 対 象 : 社会人・学生で、市民活動に関心のある方など
- 定 員 : 15名程度(申込先着順)
- 参加費 : 1,000円(税込、お茶菓子付き)
- 申込方法 : 参加申込書にご記入の上、FAX、郵送、メールにてご送付下さい。
下記URLリンク先より申込書をダウンロードできます
- 主 催 : 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施 : 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先 : みやぎNPOプラザ
(連絡先はP8下部をご参照ください)

8/28 市民活動なんでも相談会

市民活動やNPO活動の効果的な進め方を知りたい、会計の体制をしっかりとしたい、活動資金を集めたい、活動メンバーを集めたい、市民活動やボランティアを始めてみたい、NPO法人を設立したい...など、市民活動に関するご相談をお受けします。長年、市民活動に携わっている経験豊富な相談員が対応します。ぜひ気軽にご相談ください。

- 日 時 : 8月28日(木) ①13:30~14:30、
②14:45~15:45、③16:00~17:00
- 場 所 : 名取市市民活動支援センター会議室
- 相談員 : 大久保朝江氏(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 定 員 : 先着3団体(予約制)
- 対 象 : 名取市内で活動するNPOや市民活動団体などのメンバー、名取市にお住まいで市民活動に興味のある方など
- 相談時間 : 1団体 約1時間
- 申込締切 : 8月23日(土)
- 受講料 : 無料
- 申込方法 : 下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
- 主 催 : 名取市
- 企画・実施 : 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先 : 名取市市民活動支援センター
〒981-1232 名取市大手町5-6-1
TEL : 022-382-0829 FAX : 022-382-0841
E-mail : npo@natori-npocenter.or.jp
URL : http://blog.canpan.info/natori/

8/29 平成26年度 みやぎ県民大学開放講座 「ながれ」(5回連続講座)

プラズマ・分子・原子のながれなど、日ごろ意識することのない「ながれ」から、炎に関わるながれや血液のながれ、地下

8/10

第35回 仙台ピアカウンセリングの集い

大震災後はや3年4か月が過ぎました。まだハジメの一步を踏み出せないでいるあなた。一步踏み出したけれど立ち止まっているそんなあなた。仲間と経験と力と希望を分かち合い勇気を持って力強く、一步一步ともに歩んでいきましょう！お気軽にお越しください。

- 日時：8月10日(日) 14:00~16:00
- 場所：仙台市福祉プラザ 第4研修室 10階
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 内容：(タイプB型例会 クローズ方式)
ひたすら体験を語り又聞くことを通して、精神疾患や心の悩みから回復を目指す自助グループの集いです
- 対象：精神障がい者、健常者であっても今回の大震災で直接・間接を問わず心が痛み、回復が進まず悩んでいる方及び家族
※今回は当事者と家族に限定しています。医療、福祉関係者、ボランティア及び福祉に関心を寄せる一般の方は、タイプA型オープン方式例会にご参加ください
9月14日(日)はクローズ方式で、10月12日(日)はオープン方式で開催予定です
- 定員：20名(予約制、会場準備の都合上ご一報下さい)
※予約なしの場合でも、席に空きがあれば歓迎です
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください
- 主催：仙台心のケア研究会
- 連絡先：(担当：吉村)
TEL：080-3328-7186
E-mail：qqw59pc9k@star.ocn.ne.jp
URL：http://www9.ocn.ne.jp/~toaroad/contents.html

8/11

平成26年度 福祉教育推進セミナー

超少子高齢社会の進展、一人親世帯・単身・共働き世帯の増加などの社会動向や東日本大震災による生活の変容を背景に、生活課題は年々多様化・深刻化しています。今、宮城に必要な地域一体で取り組む「福祉教育」「防災教育」について、関係者とともに改めて学ぶ機会として、本セミナーを開催します。

- 日時：8月11日(月) 10:00~16:00(受付9:30)
- 場所：宮城県庁2階講堂
- 内容：10:05~ 講演「いのちを守り合い生きていくた

縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体		宮城県等所轄分6月11日~7月10日 仙台市所轄分6月11日~7月10日	
団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等 TEDIC	石巻市	子ども・若者の社会的繋がり啓発・促進を図る事業	6/25
てくてく	松島町	松島町における介護保険事業及び世代間交流の場作り事業	6/30
仙台市 在宅療養支援介護隊	宮城野区	医療と在宅医療の連携の為に関係する事業、在宅医療・介護に関わる従業者の育成の事業、在宅医療・介護に関わる従業者用保育所の設置及び関係する事業等	6/16

新たに認定を取得したNPO法人
・特定非営利活動法人ローゼンベル(青葉区)

めに~福祉教育が持つ力を考える~
原田正樹氏(日本福祉大学学長補佐)
11:00~ シンポジウム
13:30~ 分科会
15:00~ 全体共有

- 対象：福祉教育に携わる宮城県民、福祉教育・防災教育等に携わる教職員、社会福祉施設職員、社会福祉協議会職員、その他関係団体 等
- 定員：100名
- 参加費：無料
- 申込方法：所定の受講申込書を記入のうえ、下記連絡先までFAX
- 申込締切：8月4日(月)
- 主催：社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
- 連絡先：みやぎボランティア総合センター
(担当：宮崎、末永、藤原)
TEL：022-266-3951 FAX：022-266-3953

8/19

第8回 ほっこりお茶っこ飲みませんか

あたたかいお茶とおいしいお菓子で震災後の暮らしや日常の悩みなどを語り合ひましょう。

- 日時：8月19日(火) 10:00~12:00
- 場所：大崎まちづくり支援センター『きらっと』
(大崎市古川米倉字屋敷42-1)
- 対象：被災され現在大崎市に住まわれている方
- 申込方法：下記連絡先までTEL
- 主催：NPO法人おおさき地域創造研究会
- 連絡先：TEL：0229-25-9956
E-mail：mail@otsk-kiratto.org

8/20

個別指導のパソコン教室

完全なマンtoマンで受講者が要望する内容が学べる！初めてパソコンにさわる方から中級の方まで完全個別指導を行っております

- 日時：8月20日(水)、8月22日(金)、8月27日(水)
8月29日(金)
全日10:30~12:00/13:30~15:00
- 場所：サロンわいわい一番町
(青葉区一番町2-5-12 一番町中央ビル8F)
- 参加費：3回分で5,000円(会員は割引あり)
- 申込方法：下記連絡先へ、希望日の2日前までに事前予約
- 連絡先：NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台

NPO法人に認証された団体

NPO法人に認証された団体		宮城県等所轄分6月11日~7月10日 仙台市所轄分6月11日~7月10日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県等 おおさきエネルギー カウンスル	大崎市	再生可能エネルギー分野での人材育成や普及啓発活動による地域活性化	6/12
宮城県等 子ども育成支援 団体キハト会	大河原町	大河原の子ども達に対する、学童保育等の健全育成支援事業	7/8

宮城県のNPO法人数

775

団体

宮城県等所轄：361団体

仙台市所轄：414団体

※2014年7月10日現在

- 参加費：入会金1,000円、会費2,000円/月(月4回受講)
- 連絡先：IT同好会フレッシュパール会
〒987-2216 栗原市築館伊豆2-6-1
TEL：0228-22-6208、080-1830-2822
URL：http://it-freshpearl.jimdo.com

- 応募期間：7月1日(火)～8月15日(金)
※作品郵送の場合は締切日消印有効
- 応募先：化女沼の自然写真コンテスト実行委員会に直接持参または郵送
- 主催：NPO法人エコパル化女沼
- 連絡先：化女沼の自然写真コンテスト実行委員会
〒989-6251 大崎市古川小野字遠沢2-2
化女沼ダム観光資料館内
TEL・FAX：0229-28-1353
E-mail：ecopal@snow.ocn.ne.jp
URL：http://www.npo-oosaki.jp/index.php?pid=16

お知らせ

交通事故専門士 資格取得試験&事前セミナー

あなたもNPO法人交通事故と労災をサポートする会日本が認定する「交通事故専門士」の資格を取ってみませんか？資格取得にあたっては、知識がない方でも弁護士監修のもと初級・中級・上級と段階的な学習が可能です。事前セミナーにおいてください！

【事前セミナー】

- 日時：9月7日(日) 9:00～12:00
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 3F 研修室2
- 参加費：1,500円

【初級専門士資格取得試験&講習】

- 日時：9月21日(日) 10:00～15:00
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 4F 研修室5
- 受験・認定料：2,160円(テキスト代含む)
お支払いはテキスト送付時に代金引換にて

【共通事項】

- 申込方法：下記連絡先へTEL、またはメールフォームにて申込、もしくは直接窓口から申込
※試験&講習を申し込む場合は、メールフォーム「お問い合わせ内容」欄に「9/21開催 ○級(初級または中級)資格取得講習参加希望」と記入してください
- 主催：NPO法人交通事故と労災をサポートする会日本
- 連絡先：ジコサポ仙台
〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-4-18
(どんぐり整骨院内)
TEL：0120-509-907
URL：http://www.jikosapo-sendai.jp/

展示作品募集 第1回ラム・サール条約登録湿地 “化女沼の自然”写真コンテスト ～人と自然、地域のつながりを後世に！～

自然環境豊かで景観の優れた化女沼の自然をテーマに写真を撮影して応募しましょう。

- 展示期間：9月19日(金)～21日(日) 10:00～18:00
- 展示場所：大崎市民ギャラリー 緒絶の館
- 応募要項：◆テーマ
「化女沼の自然」、「化女沼の自然と生きもの」
「化女沼の自然と人々」等のいずれかを写した作品
- ◆規定
①原則としてカラー・白黒四つ切または四つ切ワイドとし、継ぎ合成、組写真は認めません。
②応募作品は未発表のものに限ります。応募点数 1人3点以内。過去1年以内の作品。その他、詳細については下記連絡先URLでご確認下さい。
- 応募方法：下記連絡先URLより申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、申込み。

多賀城碑のなぞを探る！

古代多賀城を知る唯一重要な文献資料としての国重要文化財の多賀城碑。いまだ解明されていないテーマをみなさんでなぞ解きしてみませんか？今までの真偽論争にない、あなたならではの独創的な解明をお待ちしています。

- 募集テーマ：下記2つのテーマのうちどちらかを選択し、その解釈とその根拠を作文してください
①「鞆鞆(まつかつ)国」とは？
②「多賀城碑」と「壺の碑」について
※応募は1人1点のみ。
オリジナル作品に限ります。
※本文の字数は1,000字程度。
原稿用紙もしくはワープロ原稿。
- 表彰：入選者および大賞受賞者へ記念品進呈
- 申込方法：テーマ番号、氏名、住所、連絡先(携帯電話可)、年齢、性別、職業(学生の場合は学校名・学年)を記載したものを同封の上、下記連絡先まで郵送
- 申込締切：9月30日(火)
- 主催：多賀城市史跡案内サークル
- 連絡先：〒985-0873 多賀城市中央2-25-3
多賀城市市民活動サポートセンター レターケース④
多賀城市史跡案内サークル(担当：大橋)
TEL：090-1937-3147

イベント

8/9 パネル展示 2011.3.11大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いた 「いいつたえ、むかしばなし、はなし」—その2—

2011年3月11日の大津波によって、大きな被害をこうむった県内沿岸集落で、かつて聞きとった話を、パネルで展示。

- 日時：8月9日(土)～9月28日(日) 9:00～22:00
(8月28日、9月25日は休館日)
- 場所：せんだいメディアテーク 7階ラウンジ
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 内容：南三陸町戸倉と石巻市雄勝町周辺の浜で聞いた話を紹介
- 参加費：無料
- 申込方法：申込不要
- 主催：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム、せんだいメディアテーク
- 問合せ先：せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
TEL：022-713-4483 FAX：022-713-4482
URL：http://www.smt.jp/projects/minwa/

- その他：2時間程度の基礎研修を受けていただきます
- 入会時：入会金2000円、年会費3000円
- 申込方法：下記連絡先にTELで問合せ
- 応募主体：NPO法人ゆうあんどあい
- 連絡先：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-13-18
リヲ榴岡1階
TEL：022-792-7020 FAX：022-792-7021
URL：http://npo-youandi.sakura.ne.jp/
tasukeai-work

有給スタッフ

大河原のNPO法人ほっとあい ケアマネジャー(介護支援専門員)募集

「誰もが尊厳と生きる意欲を持ち続け、自立して安心して生活することのできる地域づくりに貢献する」ことを目指し、多様な自主事業と介護保険事業を営む非営利事業所です。地域にある多様な社会資源を活用しながら、利用者の方々に寄り添ったプラン作成を実践しています。勤務する一人ひとりのライフステージに柔軟に対応した、長く働きやすい職場です。

- 勤務地：NPO法人ほっとあい
柴田郡大河原町字町279-1
- 勤務時間：8:30～17:30、9:00～18:00
- 資格：要普通免許
職種に応じた資格(介護支援専門員)
- 給与：正職員 月給175,660円～226,500円
(経験年数と担当件数に応じます)
- 休日：週休二日制
- 待遇：社会保険完備、資格手当、通勤手当、車輜手当
- 応募方法：履歴書を当団体まで郵送して下さい。書類選考の上、面談の日程をご連絡します。
- 応募主体：NPO法人ほっとあい
- 連絡先：(担当・松島)
〒989-1241 柴田郡大河原町字町279-1
TEL：0224-52-8555 FAX：0224-52-8557
E-mail：hoti@dream.ocn.ne.jp
URL：http://www13.ocn.ne.jp/~hoteye/

【急募】知的障がい者(主として)対象のグループホームの世話人募集 グループホームの世話人さん急募!!

- 勤務時間：5:00～8:30、16:30～21:00
- 勤務場所：若林区遠見塚2丁目
- 業務内容：朝食、夕食づくり、ホームの共有スペースの整理整頓掃除、利用者さんへの支援(相談、身辺整理などの指導、話し相手)等
- 募集人数：3名
- 待遇：【時給】900～1,000円、(4時間勤務)雇用保険有【休日】土日、年末年始休暇5日
- 条件：・食事づくり作業ができる方
・障がいのある方とフラットに付き合える方
・乱暴な言葉使いをしない方
※年齢不問です。
- 申込方法：詳細は下記連絡先に電話。ご連絡お待ちしております。
- 応募主体：NPO法人福祉ネットABC
- 連絡先：(担当：松浦)
〒984-0823 仙台市若林区遠見塚2-41-15
TEL：022-355-2361 FAX：022-355-2362
E-mail：peer-factory@sirius.ocn.ne.jp
URL：http://www.peer-abc.org

事業案内

栗原パソコン教室

パソコンに興味のある人、高齢者、障がい者のための「教えあい学習」を行っています。ご自身のパソコンを持参して学べます。一緒に楽しく学びましょう！9会場12教室で開催。参加しやすい曜日、会場が選べます。

- 日時：毎週月～土曜日
※8月11日(月)～17日(日)はお休みです
- 場所：曜日に応じて、以下の各地域
【月】志波姫、【火】一迫・鶯沢、【水】築館・高清水、
【木】若柳・金成・築館、【金】瀬峰・栗駒、
【土】金成・築館
- 内容：文書作成

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2014.7.16現在)敬称略

●正会員 52名

- ★仙台市 ●若生勲 ●アオイ産業(株) ●遠山青葉印刷(株)
●NPO法人仙台シニアネットクラブ
●NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
●NPO法人For Youにここにこの家
●社会福祉法人東北福祉会
- ★山元町 ●NPO法人里山ひろば

●賛助会員 80名

- ★東松島市 ●NPO法人のんびりすみちゃんの家
- ★仙台市 ●阿部幸一 ●小山かほる ●郡和子 ●角田哲
●小泉正壽 ●有坂紀美江
●NPO法人生活リハビリクラブきらら
●NPO法人グループゆう
●NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ
●宮城けやきの会 ●共育を考える会
- ★岩沼市 ●NPO法人ホームひなたぼっこ

寄付・協賛を頂いた方々 ★仙台市 ●梅森収
●木村さち子

会員募集

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊社の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	□ 3,000円
賛助会員NPO	□ 5,000円
賛助会員企業・団体	□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 **02250-0-43800**

加入者名 **特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる**
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

7月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

学習サポート・ボランティア募集!

仮設住宅、みなし仮設で生活している子どもたちや被災に関わらず経済的に厳しいご家庭の子どもたちを対象とした学習会を仙台市内各地で元気に開催しています!子どもたちと一緒に寄り添いながら勉強してくれる方を募集中です。子どもたちに学習を通して、承認され、期待されることで、自己肯定感を育ててほしいと思っています。

- 活動内容: 子どもを承認し、励ましながらの学習サポート
対象: 幼稚園~高校生(活動拠点による)
※勉強が教えられない方でも活動可能です
- 活動日時: 毎週月曜~金曜日のいずれか
18:00~20:30 ※拠点により前後有
- 活動場所: 仙台市内の各学習拠点
・太白区5か所 ・若林区4か所
・青葉区3か所 ・宮城野区1か所 ・泉区1か所
※拠点により、原付、車での移動も大歓迎
- 対象: ・子どもと向き合い、子どもの成長と一緒に喜んでくださる方
・大学生、社会人の方
・週1回以上参加できる方
(毎週が難しい場合はご相談ください)
- その他: コーチング研修会やサポーター交流会など、定期的に開催しております
- 申込方法: 興味のある方、直接団体までご連絡ください
- 募集主体: NPO法人アスイク
- 連絡先: (担当: 佐々木)
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-3-21
コーポ小松101
TEL: 022-781-5576、070-5621-8523
E-mail: info@asuiku.org
URL: http://asuiku.org/

派遣型託児サポーター(有償ボランティア)募集

忙しい子育て世帯の「困った」をサポートするため、ベビーシッター、家事代行のサービスを提供しています。定期でご利用のお客さまが増え人材が不足しています。ただ今ベビーシッターと家事サポーター(有償ボランティア)を大募集します!

- 活動場所: 仙台市泉区、青葉区、太白区、宮城野区のご利用会員宅、集団託児依頼先の指定場所
- 活動内容: 託児、保育園などの送迎サポート、家事サポート
※研修期間あり。賠償責任保険にも加入しているので安心して働いていただけます
- 対象年齢: 0歳から小学6年生までのお子さま
(託児・送迎サポート)
- 資格: 子育て経験が6年以上の方、年齢不問保育士、

教員免許(幼稚園教諭含む)、
ヘルパー有資格者優遇、自家用車持ち込み歓迎

- 活動時間: 平日9:00~16:00(登録していただき週1回2時間~)
- 報酬: 800~1400円
- 応募書類: 履歴書(写真貼付)、職務経歴書
(職歴がない方は自己PR書)
- 応募方法: 下記連絡先に、履歴書を郵送して下さい。
- 募集主体: 一般社団法人にこにこサポート
- 応募先: (担当: 上田)
〒981-0905 仙台市青葉区小松島2-3-18
TEL: 022-276-1910(平日10時~16時対応)

ボランティアを体験しませんか? 「オープンふれあい喫茶」参加者募集!

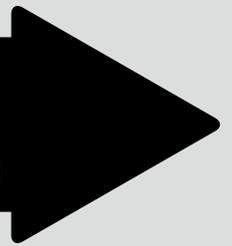
みやぎ生協ボランティアセンターが、仮設住宅や店舗・メンバー(組合員)集会室など県内57か所で開催しているサロン活動「ふれあい喫茶」でのボランティア活動を、その会場で体験し、その場や活動全体の雰囲気を実感してみることができ「オープンふれあい喫茶」を開催します。

- 日時場所: 8月21日(木) 9:45~12:30
(石巻市)石巻渡波店
9月3日(水) 10:00~14:00
(太白区)あすと長町仮設住宅集会所
9月11日(木) 9:30~13:30
(山元町)西石山原仮設住宅集会所
9月16日(火) 10:00~12:15
(登米市)加賀野店
- 対象: どなたでも参加できます。
- 参加費: 無料
- 申込方法: 下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。
- 申込締切: 8月20日(水)
- 応募主体: みやぎ生協協同組合
- 連絡先: みやぎ生協協同組合 生活文化部(担当: 山田)
〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
TEL: 022-218-3880 FAX: 022-218-3663
E-mail: sn.mfukushinet@todock.jp
URL: http://www.miyagi.coop/

協力会員(有償ボランティア募集) あなたの時間を活かしてみませんか?

“ゆうあんどあい”は、会員同士が相互に援助活動を行う法人です。あなた(YOU)とわたし(I)で助け合いの輪を作り、地域に根ざした活動を助け、安心して暮らせるネットワーク作りを目指しています。気軽にお電話ください!

- 活動内容: 家事援助(主に高齢者対象で掃除、食事作り)、病院通院の介助、入院時の洗濯等
- 活動時間: 活動できる曜日と時間を登録していただきます
- 活動場所: 主に仙台市内



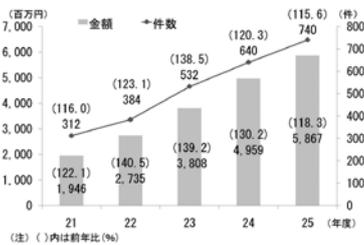
事業を営むNPO法人のみなさまへ

融資のご案内

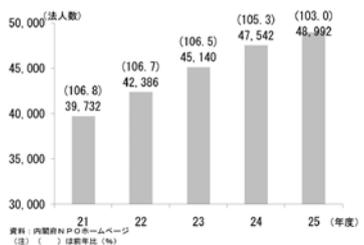
日本政策金融公庫国民生活事業は、ご融資を通じて、みなさまの事業のお手伝いをしています。

NPO法人への融資実績は年間740件（前年比116%）を超えました。

図：NPO法人向け融資実績



参考：NPO法人数の推移



資金名		新規開業資金	企業活力強化資金
ご利用いただける方	ポイント	新たに事業を始める方または事業開始後おおむね7年以内の方(注1)	卸売業、小売業、飲食サービス業またはサービス業を営む方で、店舗の新築・増築や機械設備の導入を行う方等(注1)
	ポイント	介護・福祉事業(注2)を営む方や認定NPO法人など、一定の要件に該当する方には、特別利率が適用されます。	一定の要件に該当する方には、特別利率が適用されます。
無担保 無保証 人融資	ご利用いただける方	新たに事業を始める方または事業開始後で税務申告を2期終わっていない方で、一定の要件に該当する方	
	ご融資額	3,000万円以内(うち運転資金1,500万円以内)	
融資 無担保 無保証	ご利用いただける方	税務申告を2期以上行っている方	
	ご融資額	4,800万円以内	
		ご返済期間(特に必要な場合)	設備15年以内 運転5年(7年)以内
		ご返済期間(特に必要な場合)	設備15年以内 運転5年(7年)以内

(注1)ご利用いただくには、一定の要件を満たす必要があります。(注2)老人福祉・介護事業、児童福祉事業、障害者福祉事業等を指します。
※お使いみち、ご返済期間、担保の有無などによって異なる利率が適用されます。 ※審査の結果、お客さまのご希望に沿えないことがあります。

東北広域営業推進室

〒980-8452 仙台市青葉区中央1-6-35(東京建物仙台ビル9階)
☎022(222)5339 担当/鎌田、小針



日本政策金融公庫
国民生活事業

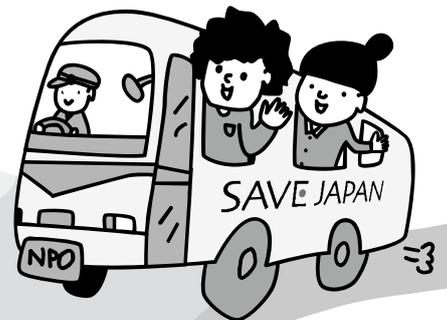
みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境

SAVE JAPAN プロジェクト 2014

知ってほしい！身近に生きる生き物のこと、環境のこと

自然再生を 考えるバスツアー

9/21日
8:30~13:00



仙台市東部、七北田川河口に広がる蒲生干潟。そこに生きる動植物を観察するバスツアーです。震災によって大きな被害を受けた自然や生き物たちがどう再生しているか、海岸域が進められている復旧工事はどう進んでいるのかを自分たちの目で見て考えます。身近な自然と人との共生について、あらためて考えてみませんか？

- 参加対象** 自然や生き物に興味のある一般市民(中学生以上)
- 参加費** 500円 **定員** 30名(先着順)
- 申込方法** TEL・FAX・メールにて杜の伝言板ゆるるまでお申込み下さい
- 集合・解散** 仙台駅

協賛：株式会社損害保険ジャパン、日本興亜損害保険株式会社

共催：蒲生を守る会、NPO法人日本NPOセンター、NPO法人杜の伝言板ゆるる